

試験研究成果普及情報

部門	花植木	対象	普及
課題名：バラのハイラック仕立て法における冬期収量増加のための樹形管理			
<p>[要約] ハイラック仕立て法において、品種「ローテロ - ゼ」のように冬期でも萌芽が多く、生育が旺盛な品種については、冬期に切り上げ採花を行うことで冬期の収量増加が期待出来る。しかも、慣行の切り上げ仕立て法と比較して、年間を通して茎長60cm以上の切り花を多く得ることが出来る。</p>			
<p>キーワード（専門区分）栽培（研究対象）切り花類 1 - バラ （フリーワード）バラ ハイラック仕立て 冬期切り上げ 樹形管理</p>			
<p>実施機関名（主 査） 農業総合研究センター暖地園芸研究所 花き研究室 （協力機関） （実施期間） 1998年度～2001年度</p>			

[目的及び背景]

バラのハイラック仕立て法は、慣行の切り上げ仕立て法と比較して、夏期せん定が不要なため、年間にわたっての収穫が可能、採花作業が容易といった利点がある反面、冬期の切り花収量が低下する欠点があるため、冬期収量を増加させる樹形管理を検討する。

[成果内容]

- 1．品種「ローテロ - ゼ」では、ハイラック仕立て法において、冬期に切り上げ採花を行うことで冬期の切り花収量を増加させることが可能である。しかも、年間を通しては茎長60cm以上の切り花が多く得られる（表1、表2）。
- 2．切り上げ採花時に残す5枚葉の枚数（図1参照）による違いは顕著では無かったが、2枚残しに比べ、1枚残しの方が比較的、切り花重が重くなる（表3）。
- 3．品種「ノブレス」では、冬期に切り上げ採花を行っても、冬期収量の増加は見られない。また、5枚葉2枚残しの場合、長い茎長の切り花割合が減少する（表1、表2）。

[留意事項]

- 1．品種「ノブレス」のように生育が緩慢な品種では、冬期に切り上げ採花を行っても、冬期の収量増加は期待出来ない。
- 2．切り上げ採花終了後、ハイラック仕立てに戻す時に、同化専用枝の葉量が十分な場合は、採花母枝は切り上げ以前の位置まで切り戻しても良いが、葉量が少ない場合は、同化専用枝の更新に用いると良い。

[普及対象地域]

県下全域

[行政上の措置]

[普及状況]

[成果の概要]

表 1 樹形管理の違いによる 1 株当たりの年度別切り花本数の推移

品 種	樹 形 管 理	1 年 目	2 年 目	3 年 目	4 年 目
ロゼット	周年ハライク	24.1(14.0)	23.6(6.1)	25.0(7.6)	24.1(14.0)
	ハライク冬期切り上げ*	26.3(16.1)	31.8(10.2)	31.1(11.0)	26.3(16.1)
	ハライク冬期切り上げ**	26.4(16.3)	34.2(13.7)	29.0(10.2)	26.4(16.3)
	慣行切り上げ**	30.6(18.1)	33.6(15.1)	24.9(12.2)	30.6(18.1)
ノブレス	周年ハライク	1.6(12.0)	22.7(8.8)	23.8(7.8)	21.6(12.0)
	ハライク冬期切り上げ*	1.0(12.4)	22.0(8.9)	24.7(8.6)	21.0(12.4)
	ハライク冬期切り上げ**	1.6(12.3)	22.1(9.4)	24.7(8.6)	21.6(12.3)
	慣行切り上げ**	3.9(12.8)	26.1(10.8)	20.9(9.7)	23.9(12.8)

切り上げ採花時残す 5 枚葉数は、* 1 枚、** 2 枚 (図 1 参照)。

冬期切り上げは、1・2 年目は 10 月から翌年 3 月まで、3・4 年目は 10 月から翌年 2 月まで実施した。表中の () 内数値は 10～3 月迄の冬期切り花本数。

表 2 樹形管理の違いによる茎長 60cm 以上の年度別切り花本数の推移

品 種	樹 形 管 理	1 年 目	2 年 目	3 年 目	4 年 目
ロゼット	周年ハライク	13.9(5.6)	11.5(2.9)	10.1(3.3)	13.9(5.6)
	ハライク冬期切り上げ*	12.0(3.6)	12.8(2.6)	10.7(3.4)	12.0(3.6)
	ハライク冬期切り上げ**	13.2(4.8)	13.4(1.9)	10.3(2.2)	13.2(4.8)
	慣行切り上げ**	1.9(0.6)	1.1(0.3)	4.4(1.0)	1.9(0.6)
ノブレス	周年ハライク	12.9(5.2)	12.2(6.2)	10.8(4.4)	12.9(5.2)
	ハライク冬期切り上げ*	11.6(5.1)	10.4(4.4)	10.9(4.8)	11.6(5.1)
	ハライク冬期切り上げ**	11.2(4.5)	7.9(2.9)	7.8(3.7)	11.2(4.5)
	慣行切り上げ**	4.1(0.8)	3.3(2.0)	5.7(3.4)	4.1(0.8)

切り上げ採花時残す 5 枚葉数は、* 1 枚、** 2 枚 (図 1 参照)。

冬期切り上げは、1・2 年目は 10 月から翌年 3 月まで、3・4 年目は 10 月から翌年 2 月まで実施した。表中の () 内数値は 10～3 月迄の冬期切り花本数。

表3 樹形管理の違いによる年度別平均切り花重(g)の推移

品 種	樹 形 管 理	1 年 目	2 年 目	3 年 目	4 年 目
ロゼット	周年ハライク	31.3(28.1)	27.8(30.4)	27.0(30.2)	29.2(31.1)
	ハライク冬期切り上げ*	29.1(25.8)	25.9(26.2)	24.7(26.5)	27.8(30.0)
	ハライク冬期切り上げ**	29.9(27.1)	24.4(22.2)	24.2(24.1)	25.8(27.0)
	慣行切り上げ**	24.6(23.3)	18.9(19.6)	24.1(23.0)	25.3(24.5)
ノブレス	周年ハライク	36.3(33.9)	33.3(36.9)	31.3(35.2)	32.6(36.3)
	ハライク冬期切り上げ*	34.9(32.7)	30.9(32.3)	30.4(34.5)	31.2(32.9)
	ハライク冬期切り上げ**	34.0(31.8)	28.9(29.5)	28.6(32.1)	29.8(32.2)
	慣行切り上げ**	28.7(25.9)	26.2(28.8)	31.1(33.5)	30.7(29.2)

切り上げ採花時残す5枚葉数は、* 1枚、** 2枚（図1参照）。

冬期切り上げは、1・2年目は10月から翌年3月まで、3・4年目は10月から翌年2月まで実施した。表中の()内数値は10～3月迄の平均切り花重。

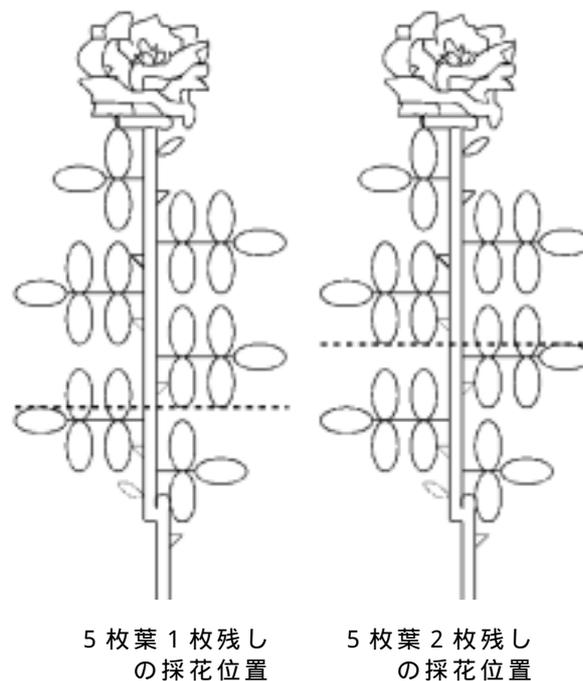


図1 切り上げ採花時に残す5枚葉数による採花位置（点線）の違い

[発表及び関連文献]

1. 平成11年度 花き試験研究成績概要集[関東・東海編] 千葉県 - 28
2. 平成12年度 花き試験研究成績概要集[関東・東海編] 千葉県 - 45
3. 平成13年度 花き試験研究成績概要集[関東・東海編] 千葉県 - 21
4. 平成14年度 花き試験研究成績概要集[関東・東海編] 千葉県 - 13